

### 3 学 期 始 業 式 講 話

平成28年1月7日

- 3期制の学校が少なくなる今日、今日は新年始業式
- ✓ 前にも話をしたが、長期の休みが明けた最初日にこうして皆で集まるのは何だか昔から好きだった
- ✓ 集会で騒がしくなるのは、教師としては、やはり嫌なものだが、この日ばかりは集会開始前のちょっとした「ざわつき」が昔から好きだった
- ✓ 誰もが学校に行くのが少しは嫌な新学期の始まり。この集会で見る友だちや私たち教師にとっては生徒の皆の顔がそれを癒してくれる
  
- この短い3学期、特に3年生にとっては、あと1か月の登校
- ✓ そうした中だが、2つの行事について、話をしたい
- ✓ 一つは、1月28日にこの体育館で行う「模擬選挙」
- ✓ 1月1日から新聞各紙は今年、選挙年齢が18歳になることを特集している
- ✓ 私や教頭先生も夏の学校新聞でこのことについて書いた
- ✓ あなたたちの一票は決して軽いものではないということを伝えたい
- ✓ 28日には、県、垂井町、関ヶ原町の選挙管理委員会がこの体育館で模擬投票ができる機会を作ってくれる。実際の投票場と同じものがこの体育館に並び、生徒全員が投票し、即開票、その結果を知るという企画
- ✓ 投票する対象は関ヶ原の合戦で活躍した武将。(実は講話では内緒にした) この機会を利用して、地元の魅力も知ってもらおうと、県の観光企画課からも話をしに来てもらう
- ✓ 観光は今、岐阜県が最も力を入れていることの一つ。その中心地のひとつがここ不破の地。少子高齢化が進む中、少しでも自分たちが住むこの地を元気にしようとするもの
  
- 「挫折」があったから、今がある
- ✓ もう一つは、3年生は残念ながら参加できないが、2月に地元企業から講師を招き、1、2年のクラス単位で話をしてもらうもの
- ✓ 今年は8社から来てもらう。そのうちのある会社に依頼のあいさつに行ったとき、その会社の社長が、人気だったテレビ番組「下町ロケット」の中で、「挫折」があったから、優しくなれたというある医師の言葉を言っていた
- ✓ 「挫折」とは単にうまくいかなかったり、失敗したりした時に感じるものではない
- ✓ 「何かに一生懸命に取り組んだ(チャレンジした)後に感じるもの」だと思う
- ✓ こうした後の失敗、すなわち、挫折からは得るものがある
- ✓ 皆もこの3学期、是非、何かに一生懸命に取り組んでもらいたい